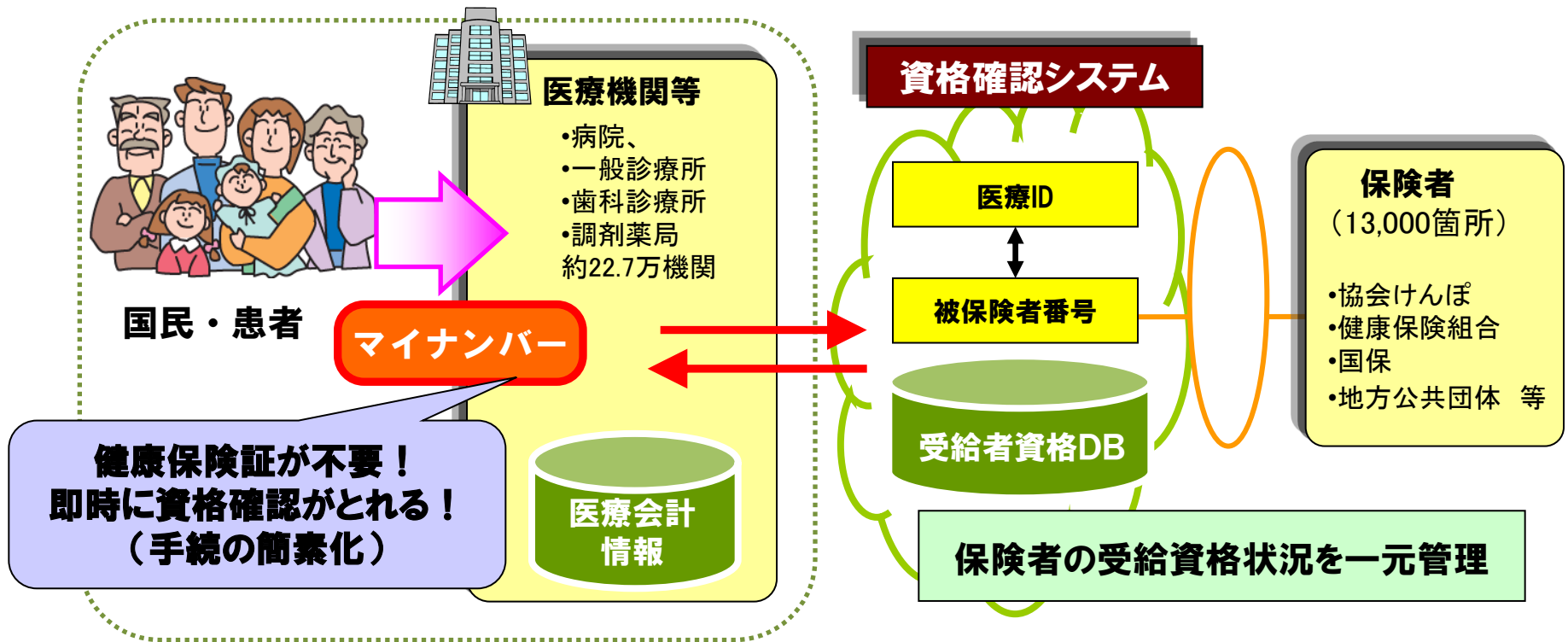


共通番号を活用した「資格確認システム構築」事業

- 患者が自身の資格を即時に確認できるため、資格過誤による手戻り作業（患者、医療機関、審査支払機関、保険者のすべて）をなくす。
- 番号制度とICTを活用して資格確認事務を自動化し、事務の効率化を図ることで、これまでの事務ロスの体力を、患者への適正な医療提供のため充てることができる。



現状) 医療機関にて月一回の券面(被保険者証)目視確認で実施しているが、名寄せ、目視確認、転記の事務が発生。
資格確認過誤による返戻は支払基金で年間546億円(H22年度)発生、国保連も含めた全体ではさらに高額。